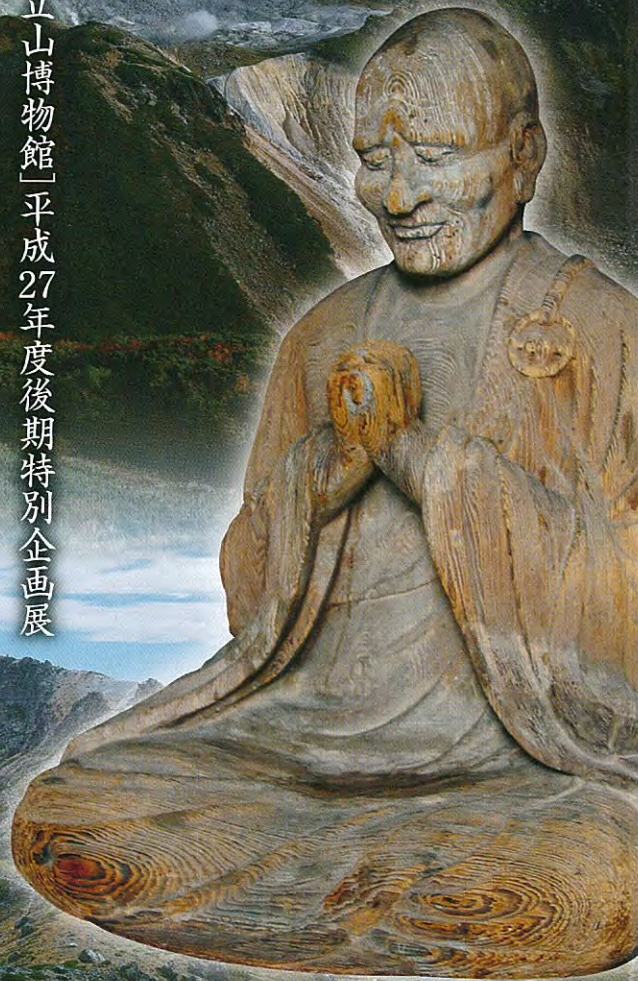


富山県「立山博物館」平成27年度後期特別企画展

立山と白山

— 北陸霊山の開山伝承 —



〔特別公開〕
木造慈興上人坐像



木造泰澄大師坐像
〔木造泰澄及二行者坐像〕から

平成27年9月19日〔土〕～11月15日〔日〕

富山県「立山博物館」展示館1階 企画展示室

〈企画展解説会〉 企画展委員・河村健史氏による特別解説会 10月3日

担当学芸員 9月19日・26日、10月10日・24日・31日、11月14日（いずれも土曜日、午後2時～3時）

〔開館時間〕午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで） 〔観覧料〕一般200円、大学生160円 〔休館日〕9/24・28・10/5・13・19・26、11/4・9

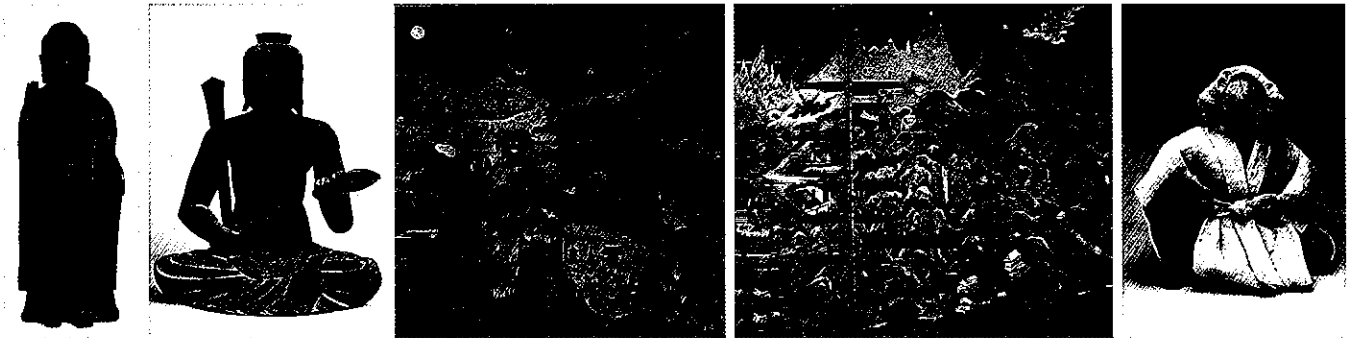
●20名以上の団体は団体料金となります。●高校生以下の児童・生徒と障がい者等は観覧料が無料です。学校教育、社会教育で利用する児童・生徒の引率者は申請により観覧料が免除となります。

主催／富山県「立山博物館」 後援／北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ、(NHK) 富山放送局 協力／石川県立歴史博物館、福井県立歴史博物館

文化庁 平成27年度「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」

文化講演会

平成27年10月17日〔土〕 午後2時～3時30分 会場／富山県民会館701号室 石川知彦氏（龍谷ミュージアム副館長）



矢疋阿弥陀如来立像

不動明王坐像

立山曼荼羅 泉蔵坊本

立山曼荼羅 専称寺本

嬉尊坐像

立山と白山

北陸の地に雪をいだいた雄大な姿をみせる立山と白山は、古くから神の山とあがめられ、富士山とともに「日本三霊山」として、人々の信仰を集めてきました。

立山信仰では阿弥陀信仰に基づいて極楽往生がかない、白山信仰では観音信仰によって現世利益がもたらされるとされ、「救い」を求める人びとが全国から訪れました。

その立山を開いたのは慈興上人、白山を開いたのは泰澄大師であると開山縁起は伝えており、今回の企画展ではそれぞれの像を展示します。国重要文化財の「木造慈興上人坐像」(特別公開、芦峯寺

雄山神社蔵)は、慈愛に満ちた表情で静かに祈りを捧げる姿が秀逸です。「木造泰澄及二行者坐像(レプリカ)」(原資料は文化庁蔵・国重文)は精悍な容貌で迫真的であり、ともに北陸を代表する祖師像です。加えて、開山縁起に関わる彫像や立山曼荼羅・白山曼荼羅等を集め、立山と白山に伝わる伝承を通して、地方霊山における山岳信仰の特色を明らかにしていきます。

全国の人々から篤い信仰を受けた立山と白山は、北陸の人はもちろんのこと、日本人全体の心のふるさとでもあります。そんな立山と白山の魅力を感じていただければ幸いです。



木造阿弥陀如来坐像

木造十一面観音菩薩坐像

木造聖観音菩薩坐像

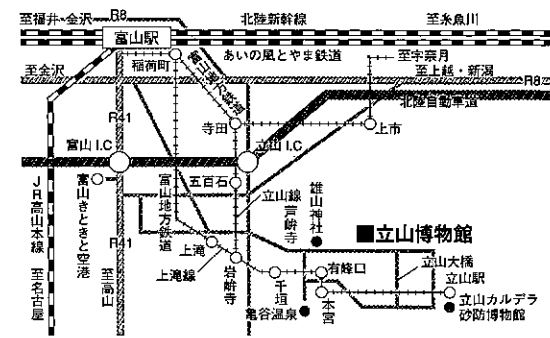
白山神影図

越知山三所権現図

十一面女神坐像

主な展示資料

1 木造慈興上人坐像	鎌倉時代	芦峯寺雄山神社蔵(立山町)	国指定重要文化財
2 木造泰澄及二行者坐像(レプリカ)	明応2年(1493)	福井県立歴史博物館蔵(原資料:文化庁蔵)	国指定重要文化財
3 矢疋阿弥陀如来立像		個人蔵	
4 不動明王坐像	江戸時代中期	芦峯寺閻魔堂蔵(立山町)	
5 立山天権現御本地仏		称念寺蔵(高岡市)	
6 嬉尊坐像	江戸時代	芦峯寺閻魔堂蔵(立山町)	
7 木造十一面観音菩薩坐像	鎌倉時代後期	片上神社蔵(鯖江市)	鯖江市指定文化財
8 木造聖観音菩薩坐像	鎌倉時代後期	片上神社蔵(鯖江市)	鯖江市指定文化財
9 木造阿弥陀如来坐像	鎌倉時代後期	片上神社蔵(鯖江市)	鯖江市指定文化財
10 十一面女神坐像	平安末期~鎌倉時代	八坂神社蔵(越前町)	福井県指定文化財
11 立山曼荼羅 泉蔵坊本		円隆寺蔵(富山市)	
12 立山曼荼羅 専称寺本		専称寺蔵(射水市)	
13 立山曼荼羅	室町時代	石川県立歴史博物館蔵	
14 白山神影図(その1)	江戸時代前期	平泉寺白山神社蔵(勝山市)	
15 白山神影図(その2)	江戸時代後期	平泉寺白山神社蔵(勝山市)	
16 越知山三所権現図	江戸時代	大谷寺蔵(越前町)	



【最寄り駅】 富山地方鉄道立山線「千垣駅」下車 徒歩約2km
 ※日曜日を除き、町営バス運行

【自家用車】 富山市内から約45分
 北陸自動車道「富山IC」から約35分、「立山IC」から約30分
 富山地方鉄道「立山駅」から約10分